

交通安全だより

平成27年5月

第179号

春の交通安全 市民運動実施!!



平成27年5月11日(月)~5月20日(水)

重

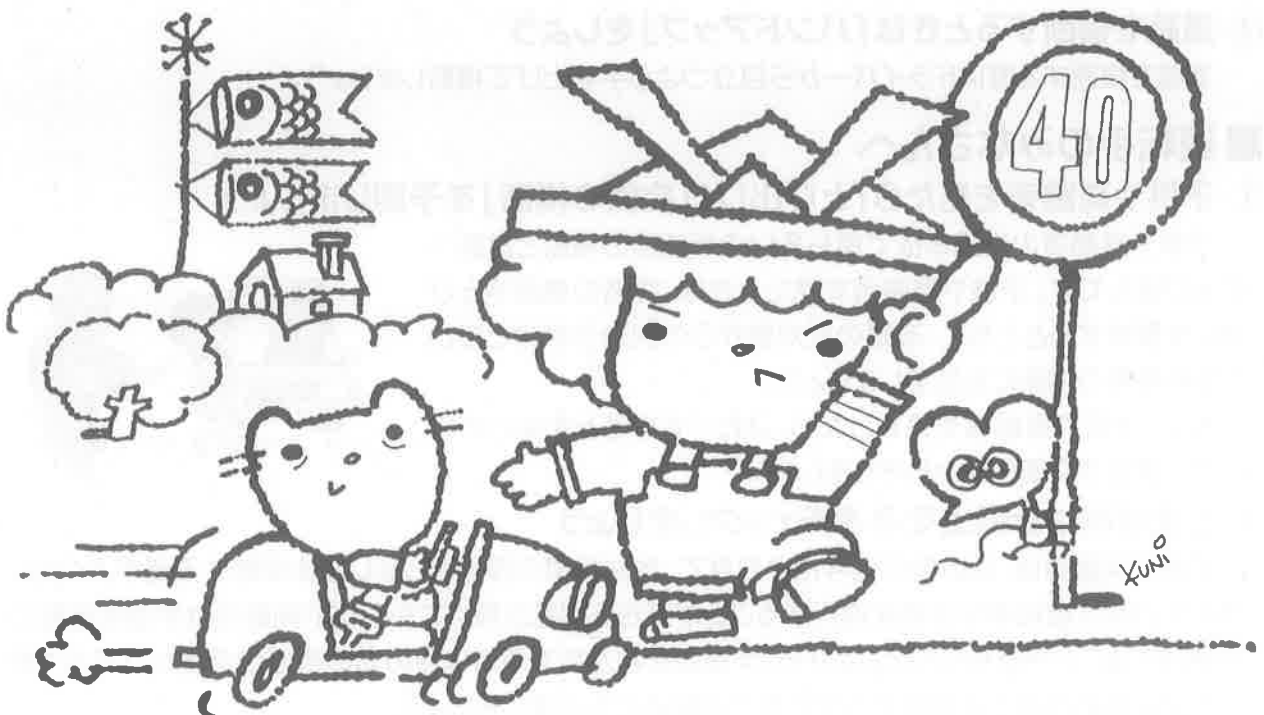
1 運動の基本

- 子どもと高齢者を交通事故から守ろう

2 取組重点

点

- 自転車の安全利用を進めよう
- 全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- 飲酒運転を根絶しよう



子供や高齢者を交通事故から守りましょう

春は、新入学児童(園児)が通学や通園を始める季節です。子供たちが新たな交通行動に参加することとなり、不慣れな環境下で交通事故が心配されます。

また、この時期は気候もよくなり、高齢者が朝夕の散歩など、外出する機会が増えることから交通事故の発生も心配されます。

子供や高齢者の事故の特徴

- 歩行中、自転車乗車中の事故が多く発生。
- 歩行者は道路の横断中(飛び出し)の事故、自転車は交差点での出合頭事故が多発。
- 自宅近くで事故に遭うケースが多い。

子供や高齢者を交通事故から守るには

■ 家族のみなさんへ

① 家族の交通安全意識を高めましょう

子供や高齢者の交通安全意識を高めるためには、自宅付近の危険箇所を具体的に上げて、家族で交通安全について話し合しましょう。

② 安全な行動を具体的に実地指導しましょう

「車に気をつけて」「あそこは危ないよ」と子供や高齢者に声をかけ、安全な行動をとるように促しても、子供は未経験から「どう気をつければよいのか」「なぜ危ないのか」また、高齢者は日頃の慣れから「何が」「なぜ」危ないのかが分かりません。子供には「どこで立ち止まるのか」「どこの何を見るのか」「どう行動するのか」、高齢者には「何を」「どうする」など、子供や高齢者の目線で具体的に分かりやすく指導しましょう。

③ 道路を横断するときは「ハンドアップ」をしよう

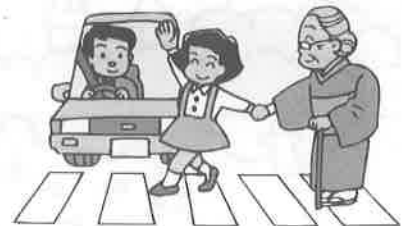
道路を横断する時はドライバーから目立つよう手を上げて横断しましょう。

■ 運転手のみなさんへ

① 子供や高齢者を見たら「とび出し」「突然の横断」を予測しましょう

子供や高齢者の交通事故で最も多いのが道路の横断と道路へのとび出しです。子供や高齢者を見たときは、突然の横断やとび出しを警戒するとともに、道路の反対側からの別の子供のとび出しや高齢者の横断にも注意しましょう。

また、子供や高齢者を見かけたら、スピードを落とすなどの思いやり運転で交通事故から守りましょう。



② 右左折時は歩道上を必ずチェックしましょう

子供や高齢者は、目の前の信号だけを見て、右左折車の確認をしないまま横断する姿がよく見られます。また、自転車が歩道を通行することができる標識が無くても子供や高齢者は歩道を自転車で通行することが認められたことから、交差点を右左折する時は目の前の横断歩道上だけでなく横断歩道前後の歩道上を通行する歩行者や自転車にも注意しましょう。

平成26年 交通事故のあらまし

昨年、蒲郡市では459件の人身事故が発生し、交通事故死者3名を含む586名の方が死傷されました。また愛知県においては人身事故件数、死傷者数共に減少しましたが、死亡事故は昨年に引き続き全国ワースト1位となりました。

表1 交通事故発生状況

年	死亡		重傷		軽傷		人身合計		物損件数	総件数
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
平成26年	3	3	11	11	445	572	459	586	2,182	2,641
平成25年	4	4	20	20	502	641	526	665	2,406	2,932
増減	-1	-1	-9	-9	-57	-69	-67	-79	-224	-291

表2 年齢別交通事故発生状況

年	子ども(～15歳)		若者(16～24歳)		一般(25～64歳)		高齢者(65歳～)	
	人数	死者	人数	死者	人数	死者	人数	死者
平成26年	37	0	75	0	352	1	122	2
平成25年	48	0	109	1	380	0	128	3
増減	-11	±0	-34	-1	-28	+1	-6	-1

○ 事故の特徴

- 交通事故総件数及び死亡・重傷・軽傷事故ともに減少しました。
地区別では三谷・北部地区で増加、西部地区は前年と同数、他の地区は減少しました。
- 年齢別では、子ども、若者、一般、高齢者ともに減少しました。死亡事故の3名は一般が1名、高齢者が2名でした。
- 道路形状は交差点での事故が全体の約36%を占め、死亡事故の3件もすべて交差点で発生しています。道路別での事故は、国道、県道、市道とも減少しました。死亡事故の3件はすべて市道で発生しました。
- 事故全体の73%が前方不注意や安全不確認など安全運転義務違反が原因でした。また信号無視や一時停止違反など基本的なルールの無視が目立ちました。

交通安全スリーS運動 — 交通事故を防止する基本行動 —

① Stop (ストップ)

- ・赤信号、一旦停止場所は必ず止まる
- ・横断歩道や交差点では歩行者優先
- ・飲酒運転の根絶(ストップ)

② Slow (スロー)

- ・見通しの悪い交差点では徐行する
- ・子どもや高齢者を見かけたら速度を落とす(スロー)

③ Smart (スマート)

- ・シートベルトの全席着用の徹底
- ・全ての人に対し思いやりを持った、“スマート”運転をする

多発事故を防ぐために～転ばぬ先の安全確認!

● 交差点では、ここを確認!

信号機のない交差点では、交差車両の有無を確認!



◆ドライバーは…

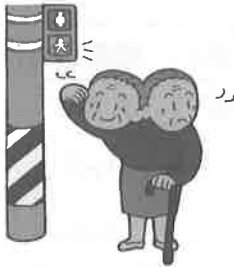
交差道路の状況に目配りし、車や自転車の有無を確認!

◆自転車利用者は…

必ず一時停止して、交差道路の車の有無を確認!

● 交差点では、ここを確認!

信号がある交差点では、周りの状況を広く確認!



◆ドライバーは…

右・左折時は側方にも目配りし、歩行者・自転車の有無を確認

◆歩行者・自転車利用者は…

横断中も交差点を広く見渡し、右・左折車の有無を確認!

● 単路では、ここを確認!

夜間は、より一層、他者(車)に目配り!



◆ドライバーは…

道路前方右側の暗がりにも目配りし、横断歩行者を早期発見!

◆歩行者は…

横断前に必ず一度立ち止まって近づいてくる車の有無を確認!

● 単路では、ここを確認!

先行車の動向にもしっかり目配りを!



◆ドライバーは…

先々の信号が「青」でも、先々の状況に目配りし、前の車の減速・停止を先読み!